

プレガバリンOD錠/カプセル「日医工」 を服用される方とご家族の方へ

▶このお薬について

- このお薬は、“神経の痛み”に対するお薬です。痛みには、大きく分けて、骨折・歯痛・やけどなどの“炎症による痛み”と、坐骨神経痛・帯状疱疹後神経痛などの“神経の痛み”があります。“神経の痛み”は、肩や腕、腰や足などさまざまな場所にあらわれます。



腕に広がる痛みや
しびれるような痛み



足やお尻にかけて
広がる痛みや
しびれるような痛み



足先のピリピリ
した痛みや
しびれるような痛み

- 痛いときだけ飲むお薬ではなく、一定期間服薬を続けることで効き目を発揮します。
- 飲み始めてから、少しずつ用量を増やしていきます。
- 治療には時間がかかることがあります。

▶服用方法

- コップ1杯程度の水またはぬるま湯で服用してください。OD錠は舌の上へのせ唾液で湿らせて舌で軽くつぶし唾液と一緒に飲み込むこともできますが、苦みを感じることもありますので、少量の水ですみやかに服用することをお勧めします。

裏面もお読みください →

▶服用中の注意点

- このお薬はめまいや眠気、意識消失などがあらわれる場合があります。**特に高齢者の方は転倒による骨折等に十分注意してください。自動車の運転などの危険を伴う機械の操作はしないでください。**
- 人によっては体重が増える場合があります。体重が増加し始めた場合には、医師または薬剤師に相談してください。
- 視力の低下や眼のかすみなどがあらわれた場合には、医師または薬剤師に相談してください。
- 必ず医師または薬剤師の指示通りに服用してください。服用を急に中止すると、不眠、頭痛、下痢などの症状があらわれることがあります。自己判断で服用を中止したり、お薬の量を増やしたり減らしたりしないでください。
- 授乳は避けてください。
- このお薬の服用中はアルコール(飲酒)を控えてください。
- このお薬には併用を注意すべきお薬があります。他の病院を受診する場合や、薬局などで他のお薬を購入される場合は、必ずこのお薬を服用していることを医師または薬剤師に伝えてください。
- 誤って多く服用した場合は、医師または薬剤師に相談してください。

▶副作用の注意点

以下のような症状があらわれた場合にはただちに医師または薬剤師に相談してください。

●めまい



●ねむけ



●気を失う

●息苦しい

●吐き気



●赤褐色尿

●むくみ

●まぶたや唇の腫れ

●冷や汗



●から咳

●発熱

●発疹やみずぶくれ

●白目が黄色くなる

気になる症状がある場合、わからないことがある場合は、医師または薬剤師に相談してください。

プレガバリンOD錠/カプセル「日医工」 を服用される方とご家族の方へ

▶このお薬について

- このお薬は、“神経の痛み”に対するお薬です。痛みには、大きく分けて、骨折・歯痛・やけどなどの“炎症による痛み”と、坐骨神経痛・帯状疱疹後神経痛などの“神経の痛み”があります。“神経の痛み”は、肩や腕、腰や足などさまざまな場所にあらわれます。



腕に広がる痛みやしびれるような痛み



足やお尻にかけて広がる痛みやしびれるような痛み



足先のピリピリした痛みやしびれるような痛み

- 痛いときだけ飲むお薬ではなく、一定期間服薬を続けることで効き目を発揮します。
- 飲み始めてから、少しずつ用量を増やしていきます。
- 治療には時間がかかることがあります。

▶服用方法

- コップ1杯程度の水またはぬるま湯で服用してください。OD錠は舌の上へのせ唾液で湿らせて舌で軽くつぶし唾液と一緒に飲み込むこともできますが、苦みを感じることもありますので、少量の水ですみやかに服用することをお勧めします。

裏面もお読みください →

▶服用中の注意点

- このお薬はめまいや眠気、意識消失などがあらわれる場合があります。**特に高齢者の方は転倒による骨折等に十分注意してください。自動車の運転などの危険を伴う機械の操作はしないでください。**
- 人によっては体重が増える場合があります。体重が増加し始めた場合には、医師または薬剤師に相談してください。
- 視力の低下や眼のかすみなどがあらわれた場合には、医師または薬剤師に相談してください。
- 必ず医師または薬剤師の指示通りに服用してください。服用を急に中止すると、不眠、頭痛、下痢などの症状があらわれることがあります。自己判断で服用を中止したり、お薬の量を増やしたり減らしたりしないでください。
- 授乳は避けてください。
- このお薬の服用中はアルコール(飲酒)を控えてください。
- このお薬には併用を注意すべきお薬があります。他の病院を受診する場合や、薬局などで他のお薬を購入される場合は、必ずこのお薬を服用していることを医師または薬剤師に伝えてください。
- 誤って多く服用した場合は、医師または薬剤師に相談してください。

▶副作用の注意点

以下のような症状があらわれた場合にはただちに医師または薬剤師に相談してください。

- めまい 
- ねむけ 
- 息苦しい 
- 吐き気 
- むくみ 
- まぶたや唇の腫れ 
- から咳 
- 発熱 
- 発疹やみずぶくれ 
- 気を失う 
- 赤褐色尿 
- 冷や汗 
- 白目が黄色くなる 

気になる症状がある場合、わからないことがある場合は、医師または薬剤師に相談してください。